宮城県助産師会だより

第１１号　発行日１０月

一般社団法人宮城県助産師会

秋の特大号！！

じょさんしフェスタ報告・勤務助産師活動紹介

巻頭言

開業助産師14年目に思う事　～助産師としての地域貢献～

保健指導部長　武者文子

宮城県助産師会会員の皆さまこんにちは

2012年度から保健指導部会長を務めております母乳育児相談室まんまはうすの武者です。

私事になりますが、今年で開業して14年目になりました。東京に住んでいた時期にたくさんの助産院に見学に行き、（皆さん出来ることをやっているのね。これなら私にも出来るかもしれない。）と感想を持って仙台に帰ってきました。その頃は宮城県で母乳育児相談をしている助産院がまだ少なく、（宮城県でやっていけるだろうか？変わったことをしている助産師と思われないだろうか。）と自分でもアウトローな気分で活動していました。それが震災後にたくさんのお母さん達が母乳育児相談に訪れ、その夫たちに「相談に行った後はうちの奥さんの表情が良くなっておっぱいだけじゃなくて心もケアしてもらった。」と言われ、産科・小児科・外科クリニックからお母様たちが紹介されていらっしゃるようになり、最近ではアウトロー気分から脱却しつつあります。

保健指導部会では震災後に日本財団やジョイセフの支援を受けて無料の母乳育児相談、家庭訪問、産後入院などの支援を実施することができ、多くの家族の方にとても喜ばれました。その後も看護協会、ジョイセフからの支援で現在は無料のじょさんしサロンを各地で展開中です。この事業は各地域の子育て支援センターの協力で会場提供、広報、職員の皆様のお手伝いを頂いております。受付開始15分くらいで定員になる会場もあり、実施後のアンケートでお母様たちの満足度も高く、参加助産師も楽しみながら実施できているようです。サロンの実施中間報告は徳島で行われた日本助産師会の助産師学会で発表し、11月30日に仙台国際センターで行われる宮城看護学会学術集会でも調査結果の発表準備をすすめています。

じょさんしサロンの内容についてはベビーマッサージ、手遊び歌、ベビーヨガなどの体験後に赤ちゃんの体重測定、育児相談、母親同士の懇談などを実施しています。今後の助産師会の事業のひとつとして、じょさんしサロンの体験コーナーを受け持つことができる助産師を増やしていくことを考えています。ベビーマッサージのインストラクターなどの資格をとって、サロンに参加して下さる助産師に20,000円の補助が出ることになりました。詳しくは同封のお知らせをご覧ください。このような機会は滅多にないことですので、是非参加してじょさんしサロンの運営にご協力下さい。その他にも助産院見学会ツアーは今後に第2弾と第3弾が企画されており、昨年保健指導部会で好評だった乳腺炎の勉強会はシリーズ化して欲しいという要望を受け、今年度も外科クリニックの医師から乳腺炎の事例報告をしていただく予定になっています。勤務部会でも出産準備教室の見学会を企画中ですので、是非とも非会員の方を誘って参加して下さい。食欲の秋、勉学の秋です。美味しいものをたくさん食べて体も心も充実した季節をお過ごしください。

目次：

巻頭言	1
じょさんしフェスタ報告	2
東北大学病院	4
春ウィメンズクリニック	5
スズキ記念病院	6
東北ブロック研修会	7
イベント案内	8

重要　災害時の安否連絡方法の確認について

宮城県助産師会会員は、宮城県で震度5強の地震が発生した際には、防災グループリーダーに安否の連絡をお願いします。

そして各グループリーダーは、災害対策本部長となる会長にグループの安否のご報告をお願い致します(防災マニュアルを再度ご確認下さい)。

たとえご自身の所在地が震度5強でなくとも、宮城県で震度5強の地震が起こった際には実践願います。おそらく震度5強では被害が少ないと予測されますが、一つの「プチ訓練」ともなります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。不明な点はいつでもお問合せ下さい。

災害対策委員長 塩野悦子(022-377-8272, siono@myu.ac.jp)

じょさんしフェスタ開催報告

保健指導部長　武者文子

6月29日（土）に東北電力グリーンプラザにおいてじょさんしフェスタを開催いたしました。144名の一般参加と50名の助産師の参加がありました。アンケートの結果から97%の方が参加してよかったと答えていました。とても良い企画なので、毎年実施して欲しいという声もあり、グリーンプラザのスタッフの方からも「若い方達と赤ちゃんがたくさん来てくださって活気がありとてもよかった。来年も是非実施して下さい。」と言われました。

どの講座も皆さんが楽しそうで、パパも大勢参加していました。プレゼント用に頂いた大きなぬいぐるみも全部配布でき足りないくらいでした。反省としては広報が足りなかったことでした。来年は各病院の勤務助産師にも協力して頂き、妊婦さんをたくさんお誘いできたらいいなと思います。各報道機関へのアピールももっと積極的にして「助産師」をアピールしていきたいと思います。来年もみなさんどうぞよろしくお願いいたします。

じょさんしフェスタ開会宣言
後藤会長

宮城県各地から集まった、助産師たち

バランスボール　インストラクター
中本　看護師

バランスボール参加者のママと赤ちゃん

大人気の沐浴練習

ママもパパも真剣です
奥に写っているのは、
NHKの取材の様子です。

骨盤底筋トレーニング・・小山助産師

第１１号

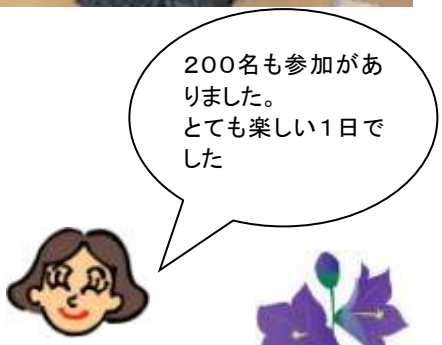
ジョイセフ JOICFP
途上国の妊産婦と女性を守る

やさしい骨盤体操の様子
山口助産師

岩佐助産師
ベビーマッサージの様子

ヨーガ担当
スズキ記念病院
鈴木佳奈助産師
猪狩美保 助産師

助産師たちによる
体験ハンドマッサージ
ママの憩いのひととき



たかだこども病院・高田先生
禁煙ミニ講演

第１１号

ここからは、施設で活躍する助産師たちの様子をお伝えします

こんにちは、東北大学病院　周産母子センターです

東北大学病院では、平成24年から助産師外来を正式に開院しました。火・水・木・金曜日に妊婦健診と健康相談を、お一人45分間かけて行ってます。助産師が超音波検査も含めた健診を行っています。完全予約制で、費用は医師の健診同様5,000円で、助成券が利用できます。

また、助産師独自の活動としては、マタニティヨガがあります。開催日は第1土曜日・第2、第4木曜となっており、妊娠16週以降で、医師の許可があればどなたでも参加できます。1回1,050円（税込）です。妊婦さんにもやさしいお茶やお菓子の提供もあります。

2週間健診も実施しており、初産婦全員と経産婦でも育児に不安がある方など、助産師側で必要と判断した褥婦さんには来ていただいております。毎週日・月・水曜日でお一人1時間、一日4人で、ご主人やご家族と一緒に受診できます。健診料金は2,100円です。基本的に医師の診察はありませんが、赤ちゃんや褥婦さんに心配な症状があれば、医師に診察してもらいます。（別に診察料金が発生）お産後のサービスとして、ギフトセット（臍箱、手型・足形台紙、乳頭亀裂時の塗布薬、清浄綿等）や、お祝い膳の提供（産後3日目か4日目）もしています。バースプラン作成やフリースタイル出産・立会い出産も可能です。

地域での性教育活動を平成16年から小中高校からの依頼で実施しており、平成24年には6校1,080人に実施しました。

また、周産母子センターには3名の臨床心理士が在籍しています。妊娠・出産は一般的には喜ばしい、幸せなものですが、その反面、体や気持ち、生活の変化がとても大きく、心身ともにストレスを感じやすくなる時期でもあります。当センターでは、様々な悩みや不安を気軽に臨床心理士とお話することが出来ます。

母乳育児の方針はUNICEFによる母乳育児成功のための10か条をもとに、母乳育児の指針を作成し、母乳育児を推進し、日々の看護に当たっております。

周産期医療システムとして、宮城県では、医療機関や救急隊から妊産婦の救急搬送の要請があった時に、早急かつ適切に対応するため、専門のコーディネーターを配置するという事業に取り組んでいます。周産期救急患者、特に母体搬送を円滑に行うことを目的として導入された事業です。平成21年7月より県内の各地域で妊娠・出産から新生児にいたる専門的な医療を効果的に提供するため、仙台赤十字病院を総合周産期母子医療センターに指定し、各地域の地域周産期母子医療センターとの連携を図り周産期医療体制を整えています。医療機関への搬送が必要な妊産婦に対して、専門のコーディネーターが専門病院を選定し、患者受け入れを依頼することで、患者の搬送をスムーズに行うことが可能となりました。周産期救急搬送コーディネーターを仙台赤十字病院と東北大学病院の2か所に配置しています。コーディネーターは周産期ネットワーク施設の産科及びNICUのベッドの空き状況を確認しながら妊娠週数・症状に合わせて受入れ先病院を探し、受入れ要請を行ってスムーズな運営が行われています。

周産母子センターのホームページの更新は積極的に行っておりますので、是非ご覧下さい。

東北大学病院　周産母子センター（東6階）　伊藤直子

助産師主催のマタニティヨガの様子

ヨガの後、みんなでティータイム(#^.^#)

助産師外来の様子・・・待ち時間がないのはうれしいですね

第１１号

春ウィメンズクリニックの助産師たち

春ウィメンズクリニック　助産師　菊池啓子

宮城県助産師会会員の皆様こんにちは
春ウイメンズクリニックは2011年9月7日名取市に開院し、先日ようやく2周年を迎えた新しいクリニックです。
院長が大切にしている「自然なお産、母乳育児、母子の触れ合いを大切に」をコンセプトに、お母さんと赤ちゃんの持つ力を最大限に引き出せるようなフリースタイル分娩・母乳育児支援を展開しています。
お母さんたちからは、「フリースタイルで産んで楽だった」「今何が起こっているのかよくわかり自分で産んだという実感があった」など好評を得ています。
当院で初めてフリースタイル分娩に取り組む助産師が多いのですが、自然の流れに乗ったお産が安全でスムーズに進行することが理解できるとお産の介助が楽しくなる様です。
外来では一人の妊婦さんの妊婦健診・採血や保健指導を同じスタッフが受け持つ、セミ受け持ち制を導入し「相談しやすい」と好評を得ています。
他にもマザークラス、マタニティヨーガ、産後ヨーガ、骨盤ケア、インファントマッサージ、子育てサロン等々・・・一人ひとりが自分の技術・特技を生かして活動しています。
分娩件数も増え忙しい日々を送っておりますが、開院以来スタッフの4人が結婚、5人がすでに産休・育休中という幸せいっぱいのクリニックです。
まだまだこれからのクリニックですので皆様からのご指導をよろしくお願い致します。名取へ起こしの際は是非クリニックにもお寄り下さい。

ママたち企画運営のクリスマス会

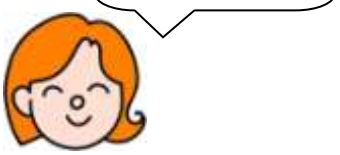
1ヶ月検診で・・
安井医師と高階里絵助産師

マザークラスの様子
原田恵美看護師

インファントマッサージ
佐藤理恵助産師

産後ヨーガ：秋山裕美子看護師

子育てサロン
高橋貴子助産師
佐久間智子看護師



芋煮会は昨年開催したのですが、今年も企画しています
スタッフが主催して、クリニックでご出産された親子参加となります
芋煮を食べて、手遊び唄などをして後はおしゃべり会です
昨年は32組の親子が参加しました

第１１号

年間分娩「約900件」のスズキ記念病院

当院では助産師38名が、各担当部門で充実した日々を送っています。

産科外来では、「質を下げずに効率よく」をモットーに、妊婦さんと向き合っています。ハイリスク妊婦や経済的・社会的問題を抱えるケースが目に付き、如何にサポートしていくかが日々の課題です。「妊婦健診パス」の他に、「相談用紙」・「30週保健指導シート」・「妊婦トータルアセスメント用紙」・「バースプラン」等のツールを活用して状況判断し、保健指導につなげています。感染についても力を入れて妊婦教育をしています。地域の保健師との連携も欠かせませんし、周産期医療ネットワークのスムーズな連携は、とてもありがたいです。

マタニティクラスの運営は、病棟助産師が担当です。当院では平成11～13年、英国より講師をお招きしフリースタイル出産について学びました。母親学級・父親学級で詳しく紹介し、臨床現場でも取り入れております。母乳育児クラスは、助産師と医師が担当します。医師は、“おっぱい講義”をします。最近はキーパーソンへの指導の重要性から、実母等の同伴も受け入れて月３回好評開催中です。他にも専任講師が担当するマタニティヨガ・産後ヨガ・マタニティダンシングクラスがあり、開始前のメディカルチェックで助産師が関わっています。惜しまれつつもお休み中のクラスが「ベビーマッサージクラス」。国際インファントマッサージ協会の認定資格を持つ助産師が担当し、平成14年より開催していました。大変好評を得ていたのですが・・・再開が待たれます。

他にも入院中の助産ケアはもちろん、母乳相談・乳児健診でも助産師が関わり、活躍の場が多いのが当院現状です。興味を持ったあなた！！私たちと一緒に働きませんか？

スズキ記念病院　鈴木智子

母乳育児クラスの様子・・上野由香里助産師

産科外来勤務中の様子

佐藤　望助産師

伊藤　優助産師

赤松　恵助産師

ベビー室勤務中の様子

阿部　真美子助産師

わかりやすいと好評の
妊婦健診スケジュール

（手前）　猪狩　美保助産師
（奥）　伏見あずさ 看護師

1ヵ月健診の様子

猪狩　美保助産師

たくさんの助産師さんが活躍されているんですね！

第１１号

平成25年度　日本助産師会北海道・東北地区研修会報告 IN北海道

宮城県助産師会理事　伊藤朋子

宮城県助産師会から
後藤会長・山岸理事・伊藤理事
とも子助産院スタッフ

札幌で開催の地区研修会に参加し、秋晴れのさわやかな北海道を楽しんでまいりました。

研修は、興味深い内容がぎっしりでしたが、特に札幌医科大の澤田いずみ先生による「子どもの虐待防止にむけて助産師が今できること」という講演は、特に心に刺さりました。重く苦しい内容でしたが、精神科看護を専門の澤田先生の明るいキャラが、勇気と希望をくれる楽しい講演でした。

虐待死では0歳・0日死亡が少なくないのだそうです。「虐待するお母さんってどんな人？」「鬼のような悪い女？」NO！NO！「相談する人がいない人、孤独なひと・・」。被害にあった子どもたちはもちろん気の毒だけれど、どうしてそうなってしまったのか、どうしたら防げたのか・・？

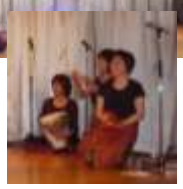
虐待というと産院を退院してからの出来事のように思いますが、丁寧なバースレビュー（お産の振り返り）は、女性の自己肯定感を充実させ、母子関係をはぐくむのだそうです。妊娠・出産の場面は虐待防止にとても重要なのだと学びました。この赤ちゃんたちがどう育てられていくのかにも心配りつつ、地域や他業種との連携を一層おこなっていこうと思いました。

仙台に帰ると、テレビでは「太白区のホテルで新生児の遺体発見・母親逮捕」とニュースが流れていました。逮捕で一件落着・・・ではないはず。赤ちゃんもあわれだけれど、その妊婦さんの事を思うと胸がつぶれそうです。私たち助産師は、何する人でしょうか？本当に悔しい。 本当に必要としている人と繋がりたいと思います。

また3部会集会では、助産所部会の安全管理評価の実施のしかた・助産ガイドライン改訂・分娩情報ITシステム・産後ケア事業について・会陰縫合の研修について・・と話題満載。普段は会えない開業助産師同志、充実した情報交換ができました。

懇親会での恒例の出し物は各県、ものすごい力の入れようでびっくり！ホームページにアップしましたので、ご覧ください。来年も楽しみです。

中央・日本助産師会
岡本会長



宮城県からは、タイ王国の舞

北大学生たちのダイナミックな
YOSAKOIソーラン

ご報告とお礼

会長　後藤美子
会計　山岸和子

会員の皆様には、本会の運営につきまして、日頃からご支援いただき感謝しております。
日本財団からの、東日本大震災にかかる支援事業であった「被災地での母子預かりによる産後ケア推進事業」について、支払い等の処理が終了し、884,955円の戻り金となりました。
総会で提案させていただいた運営協力金のほうも順当に入ってきております。
また、会員より多額の寄付金も頂戴しました。胎盤処理事業のほうも継続させていただいています。
　当初はかなり厳しい予算だったのですが、おかげさまでH28年の全国総会の運営費の確保や、今後の活動の円滑化に向けた財源の確保が一定できたことを、ご報告させていただきます。
ひとえに、皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。ありがとうございました。

第１１号

これから宮城県助産師会が開催する研修会・イベントのご案内

10月26日(土)13:30～
助産院見学ツアー第2弾（こんの助産院・氏家母乳育児相談室・助産院カイロLightSnowの見学です）

12月14日(土)14:30～
助産院見学ツアー第3弾（かとう母乳育児相談室・母乳育児相談室まんまはうすの見学です）

チラシ・Fax用紙が同封されています。

11月16日(土)
「分娩時の出血と助産ケア」
講師：進純郎　先生
会場：日立システムホール
（旧：青年文化センター）

毎回好評のNCPR講習会

マップ、新しくなりました！沢山欲しい方は、ご連絡ください。

じょさんしサロンも軌道に乗って、毎回参加者多数です

ベビーマッサージ・リトミックの様子です

ジョイセフさんの支援より、
研修費を20000円助成します。
先着20名です！
じょさんしサロンで一緒に活動しませんか？詳しくは、同封のお知らせを見てくださいね。

～企画募集中～

平成28年5月のin宮城での日本助産師会・全国総会まであと3年！宮城県助産師会皆様の力で、有意義な総会にしたいですね。企画を随時募集しています。メールなどでお気軽にお知らせください。

一般社団法人宮城県助産師会
所在地：〒982-0817 仙台市太白区羽黒台21-25
電話・FAX：022-244-8007

ホームページもご覧ください
http://www.midwife-miyagi.net/

編集後記
今年度も後半戦ですね。大きなイベントの成功があり、うれしいかぎりです。11号では、勤務助産師さんたちの活動の様子が垣間見えてよかったです。お忙しい中編集にかかわった皆様、ご協力ありがとうございました(*^^)v
広報委員　山口・伊藤

発行日2013年10月

一般社団法人宮城県助産師会

みやぎ子育て女性健康支援センター便り

この頃の電話相談　　センター長　石川初枝

仙台市の委託事業「せんだい妊娠ほっとライン」を受諾して半年が経ちました。相談件数は徐々に増加しています。4月11件、5月14件、6月26件、7月19件、8月19件です。講演件数は8月末日で22件です。今回は、「仙台妊娠ほっとダイヤル」開設に伴う情報収集先(相談者が電話相談をどこで知ったか)の変化と相談内容の特徴とについてご報告します。

最近、産婦人科病院・クリニックでの広報カードから相談してくる人が増えてきました。相談してくる方は、初産婦さんとは限りません。2人目、3人目の方もいらっしゃいます。育てる不安・家族との問題・妊娠と手術、妊娠とタバコなどがこの頃の内容です。産婦人科受診時に広報カードを調達し、電話に向かったようです。私どもは一件〃を真摯に受け止め、解決策を自らが探れるように情報提供しています。皆様には、益々広報の程、お願い致します。

みやぎ・子育て女性健康支援センターでは、
思春期保健教育 も行っております。

子育て体験学習(鶴巻小学校　)では、人形を使って赤ちゃんの沐浴体験なども行いました。

ご報告

みやぎ生協こ～ぷほっとわ～く様より助成を受けました。

パソコン・Fax複合機・電話機を購入させていただきました
電話・メール相談、講演準備、諸機関との連絡、会員との連絡等に活用させて頂きます。
ありがとうございました。